

# 調査団報告書

調査No. 5

## 調査内容

ロシアに隕石が落下し、大きな被害を及ぼしましたが、名古屋にも隕石が落ちたことがあるのでしょうか？

## 調査結果

名古屋にも隕石が落下したことがありました。  
落下した隕石を囲む人々の様子が尾張名所図会の付録である『小治田之真清水』に描かれています。  
寛永9（1632）年8月14日に落下した隕石は、「星石」と呼ばれ、文政12（1829）年に南区にある喚続（よびつぎ）神社に寄進されました。昭和51（1976）年8月15日の国立科学博物館の鑑定により、落下年代の明白な隕石としては日本最古となり、「南野隕石」と命名されました。  
しかし、わずか3年後には、貞観3（861）年4月7日に福岡県直方市に隕石が落下していたことがわかり・・・、現在は2番目に古い隕石となっています。

## <参考文献>

- 『小治田之真清水 巻3』岡田啓／編 名古屋温故会 1930年  
『南区郷土文化写真集』南区郷土文化会／編 南区郷土文化会 1968年 | p.51  
『喚続神社とその周辺』荒川泰市／著 荒川泰市 1970年 | p.6-7、p.28  
『南区の歴史』三渡俊一郎／著 愛知県郷土資料刊行会 1986年 | p.176-177  
「本邦最古の隕石を確認」『天文月報』Vol.69、No.10 | p.315  
「南区の喚続神社 社宝はイン石だった」『中日新聞』1976.09.29 朝刊 18面  
『天文年鑑 2013年版』天文年鑑編集委員会／編 誠文堂新光社 2012年 | p.225  
『天文年鑑 1981年版』誠文堂新光社天文年鑑編集委員会／編 誠文堂新光社 1980年 | p.87

